

ふくしま

# 再生 短信

2024/10/20 ふくしま再生の会総会・報告会

## 協働の実りを次へ

ふくしま再生の会の皆様  
 10月20日の総会・報告会・懇親会は、予想以上に盛り上がりました。これらの実行を支えた会員・関係者の皆さんの努力の賜物だと思えます。

総会はオンラインでなく伝統的な形で、順調に報告・決議が行われ、今年度の事業に邁進することとなりました。報告会は、石川哲さん編集の13年間のわかりやすい映像、溝口さん・編集の13年間の過去・現在・未来の熱のこもった報告、各チームリーダーの熱弁で時間を忘れて盛り上がりました。

中嶋康博 東京大学大学院農学生命科学研究科長・農学部長に挨拶を頂き、福島大学に食農学類を創られた生源寺真一さんにも挨拶してもらえました。お二人を含め会場の皆さんが、NPO法人ふくしま再生の会の各チームの実行の姿と勢いを目の当たりにしてもらったことが最大の成果でした。懇親会で多くの方々が、そのように話していました。受付から会場整理、ポスター展示などの多くの作業が順調に運んだことに、改めて厚く御礼申し上げます。

2024年10月23日 田尾陽一

2024年10月20日午後1時から、東大農学部弥生講堂アネックスで認定NPO法人ふくしま再生の会(田尾陽一理(写真1))の第13回定期総会が行われ、第13期活動総括・第14期活動方針ほかを採択。午後2時「福島・飯館村の状況と再生活動の報告会」開会。田尾さんの挨拶(写真2)に続いて東京大学大学院農学生命科学研究科・中嶋康博科長から「ビールのホップに学生自らの取り組み、村との連携の成果」との挨拶(写真3)。



1 田尾陽一 挨拶



2 石川哲 カメラマンの挨拶



3 「ふくしま再生の会」飯館村  
村民と協働13年間の記録

◆基調講演は東大大学院・溝口勝教授「13年の活動を踏まえ、今見えてきたこと」。再生の会との出会い、埋設汚染土の実証研究、復興からレジリエンス(回復力)へ復興農学の展開を熱く論じ、次世代の若者への支援を訴え「老いては子に従え」と結ぶ(写真4)。

◆菅野宗夫さんから「飯館村の現状とこれからの課題」の報告



4 中嶋康博 挨拶



5 不死鳥の如く 挨拶

◆午後6時から「不死鳥の如く」。「復興」に加えてこの日初登場「飯館ワイン」、飯館の銘酒を囲む大懇親会(写真8、9、10)。

見事なシメ。(文責&撮影・若林一平)

用ブドウ栽培、野草班、モニタリングチーム、サークルまでい、アートと地域・宿泊施設、各チームリーダー(写真は下段)のみなさんから再生活動現場報告◆佐須米販売(写真6)、環世界探索紀行(写真7)紹介、各QRコード掲載◆全てのプレゼ準備と当日映写操作は渡壁典弘さん



会場全景 両サイドに花のポスター・健康いちばん・ほかのパネル



溝口さんプレゼン資料

